

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなの家 サンライズ			
○保護者評価実施期間	R6年 3月 3日		～	R6年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	R6年 3月 3日		～	R6年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	バリアフリーとして、入口から室内・トイレまで段差なく作られており、身体能力に不安のある児童でも受け入れることができる。	子供たちに危険がないように机の角にはコーナーガードを貼って対策している。 車椅子用のトイレを設置している。	危険箇所がないか毎回清掃の際に確認を行い、情報共有する。
2	部屋が広く作られており、スペースに余裕があるので室内でもボールを使ったり走ったりすることができる。	勉強スペース・おもちゃ部屋と区切ることによって子供たちが自由に遊べるスペースを確保することができている。	子供たち同士でトラブルがないように決められた場所でのルール等もポップなどを使って掲示する。
3	構造化を意識した部屋のレイアウトや掲示がされている。	靴箱やロッカーにはポップや名札を貼り、勉強スペースやおもちゃ屋はポップを貼って子供たちにわかりやすくして構造化・視覚化支援を行っている。	当日のスケジュールをホワイトボードに記載し、活動前にルール等説明しながら発表する。活動時間なども子供たちにわかるようにタイマーや時計の絵を活用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害のない子供との交流の機会がない。	交流する機会も作ることができず、職員の知識不足。	他事業所や行政に相談する。
2			
3			